

提出日： 2025 年 6 月 4 日

研究促進期間制度 研究実績報告書

所属学部・研究科	身分	氏名
文	教授	藤原浩史

研究期間	以下1～4より、取得した研究機関を選択し、該当番号を右欄にご記入ください。
	1. 2024年4月 1日 ~ 2025年3月31日 2. 2024年9月 1日 ~ 2025年8月31日 3. 2024年4月 1日 ~ 2024年9月20日 4. 2024年9月21日 ~ 2025年3月31日
活動報告	研究期間中に実施した研究活動を具体的にご記入ください。 海外活動補助費を受給した方は、海外活動の内容が分かるようにご記入ください。
	① 平安時代和文資料の文体の分析 『枕草子』の全章段について、文に分解し、データベースを作成した。 ② 文体の計量 上記に基づき、『枕草子』の各章段の文の構成を計量した。 ③ 章段の分類 計量結果に基づき、『枕草子』の章段の分類を行った。 ④ 以上を論文として発表した。
得られた研究成果について	上記の研究活動の結果、得られた研究成果についてご記入ください。
	全章段の文章構成について、以下の論文にまとめた。 『『枕草子』の文章類型』『紀要』130、2025年2月28日、中央大学文学部 また、『枕草子』の随想的章段の代表である「こそ」型章段について、以下の論文にまとめた。 『『枕草子』「こそ」型章段の文章構造』『中央大学国文』68、中央大学国文学会、2025年3月25日 以上に基づき、一連の『枕草子』の文章構成について、類聚的章段、随想的章段、日記的章段の各類型が明らかとなった。
今後の計画について	得られた成果を踏まえ、今後どのように研究を発展させる計画か、ご記入ください。
	本研究促進期間によって、『枕草子』の文章構成についてまとめることができた。 今後は、10数年間の『枕草子』の文章研究に関する論考をまとめ、書籍化することを構想している。 また、『栄花物語』『源氏物語』『土左日記』『伊勢物語』の文章分析とあわせ、平安時代和文資料の文章構成についての論考にすすむことを考えている。